

宮崎大学医学部顎顔面口腔外科学分野
における口腔がん治療
—地域連携も含めて—

宮崎大学 医学部
感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野

山下善弘

**本講演に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。**

宮崎大学医学部附属病院



1977年10月開設 総病床数632

1994年 特定機能病院指定

18の診療科

- ・循環器内科 ・腎臓内科 ・肝臓内科 ・血液内科 ・神経内科
- ・呼吸器内科 ・内分泌・代謝・糖尿病内科 ・膠原病・感染症内科 ・消化器内科
- ・精神科 ・小児科
- ・外科(心臓血管外科 肝胆膵外科 呼吸器・乳腺外科 消化管・内分泌・小児外科 形成外科)
- ・整形外科 ・皮膚科 ・泌尿器科 ・眼科 ・耳鼻咽喉科 ・産科婦人科
- ・放射線科 ・麻酔科 ・脳神経外科 ・**歯科口腔外科・矯正歯科**

宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野

教授	1		臨床研修医		
講師	2 (2)		1年目	0 (12)	
助教	3 (3)		2年目	2 (8)	
医員	10 (10)		3年目	0 (8)	():定数

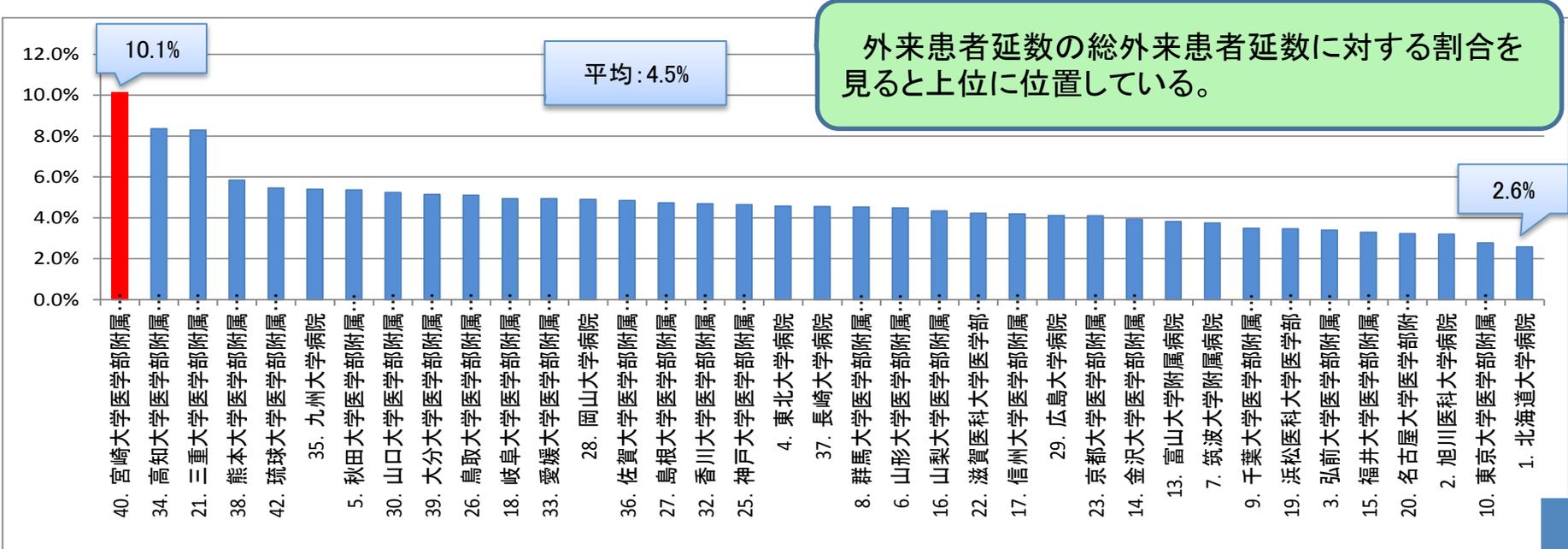
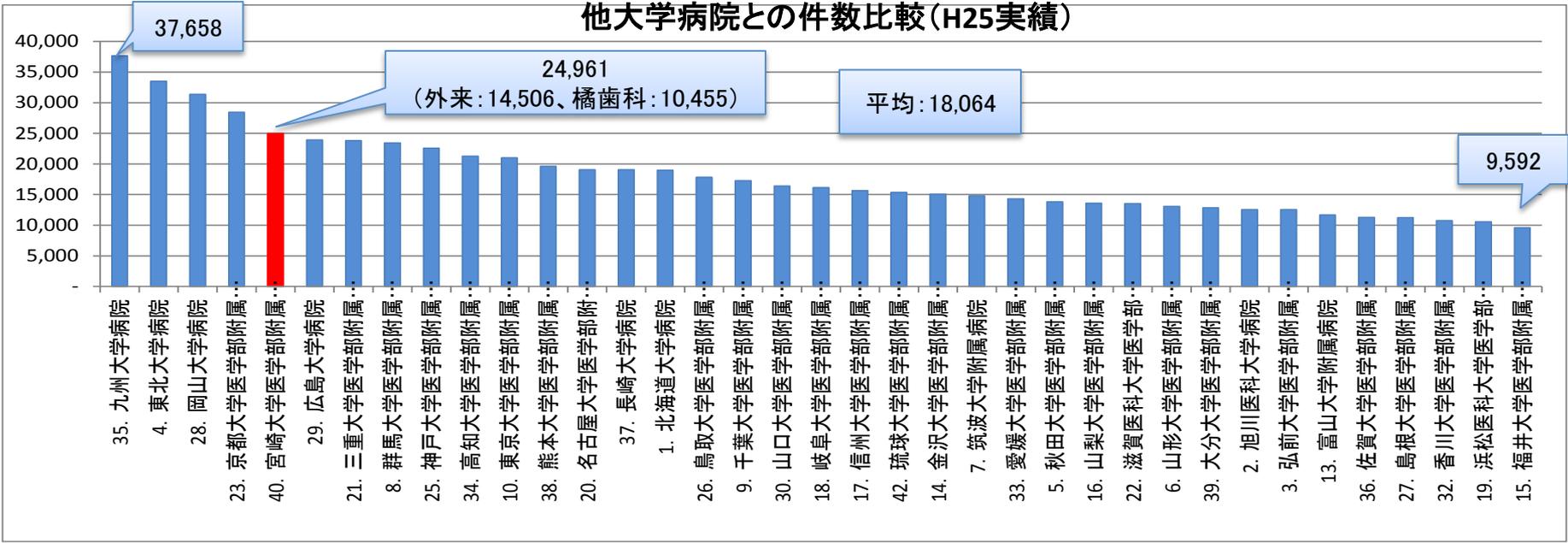
宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科 平成28年度 診療実績

手術内容内訳

- **新患数 : 1903 人**
- **新入院患者数 : 706 人**
- **外来総患者数 : 18203 人**
- **全身麻酔手術件数 : 537 件**

小手術	283
嚢胞、良性腫瘍等	159
骨折関連	42
唇顎口蓋裂関連	31
顎変形症関連	29
悪性腫瘍	49
再建、広範囲支持	57

2.宮崎県内からの全身疾患を有する歯科口腔外科、矯正歯科疾患症例 ※歯学部附属病院を除く



宮崎大学医学部 歯科口腔外科の現状

- ・県内に歯学部・歯科大学・がない
- ・県外の歯学部・歯科大学から遠く離れている

☆ 県内医科大学からの紹介
県内歯科開業医からの紹介
関連病院で対応困難な症例の転送
24時間365日全て引き受ける

一方で、

- ☆ 人材確保が困難 ☆
- ☆ 知識や技術を更新する時間が確保できない ☆



顎顔面口腔外科学分野の医局員構成と専門性

教授： 山下善弘

永田順子 講師

近藤雄大 講師

金氏 毅 助教

末廣 助教

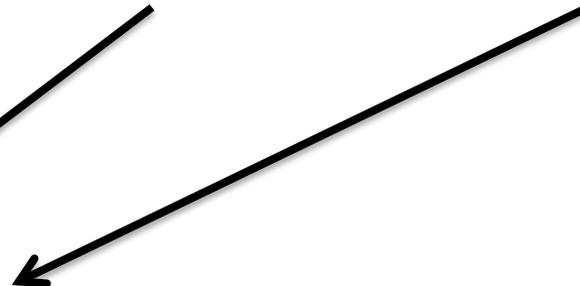
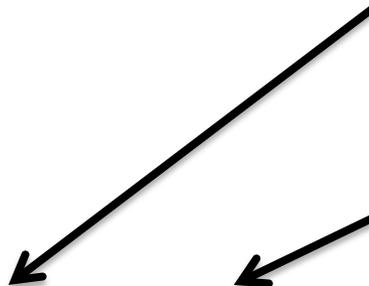
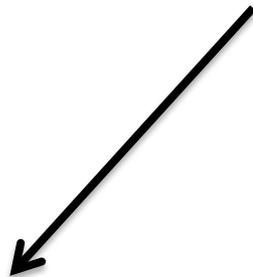


矯正歯科
口唇口蓋裂センター長

悪性腫瘍

顎変形症

口唇口蓋裂



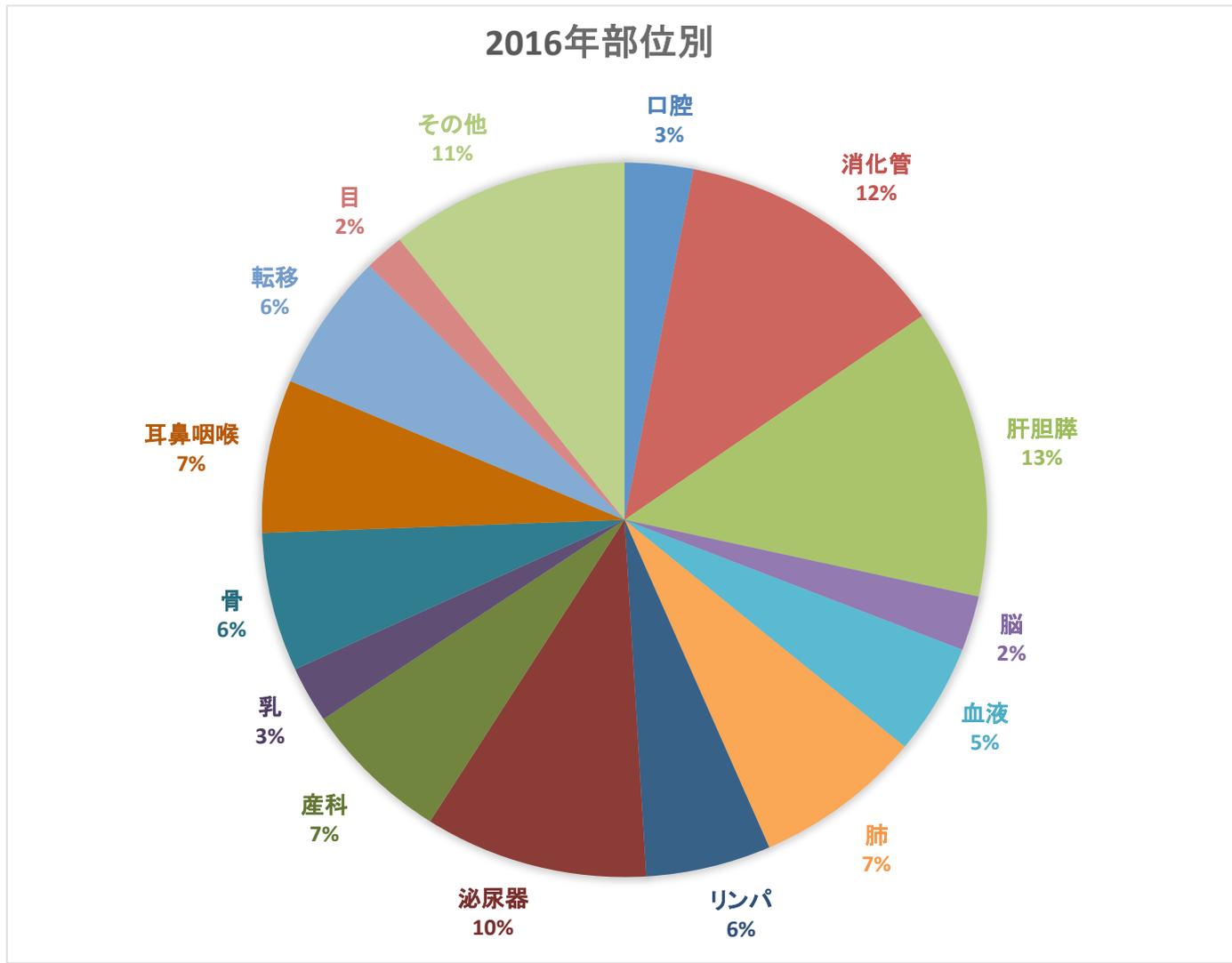
その他の疾患：外傷，口腔粘膜疾患，顎関節疾患など

医院 3名
大学院 5名
歯科衛生士 9名
歯科技工士 1名

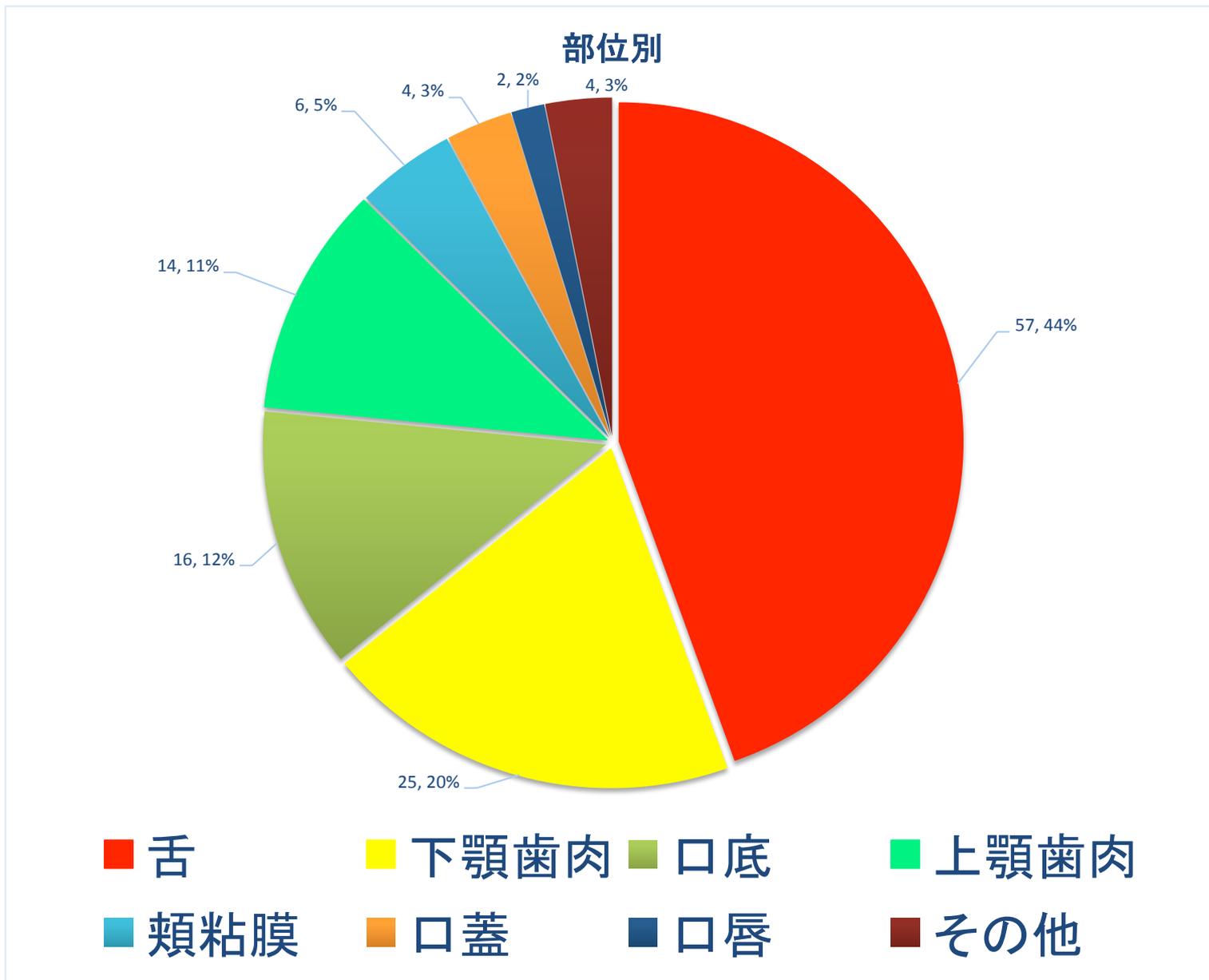
井川 助教（病院准教授）
宮崎大学医学部附属
橘通歯科口腔外科クリニック
医院長

宮崎大学医学部付属病院における 発生部位別悪性腫瘍性疾患

(2012年- 2016年)

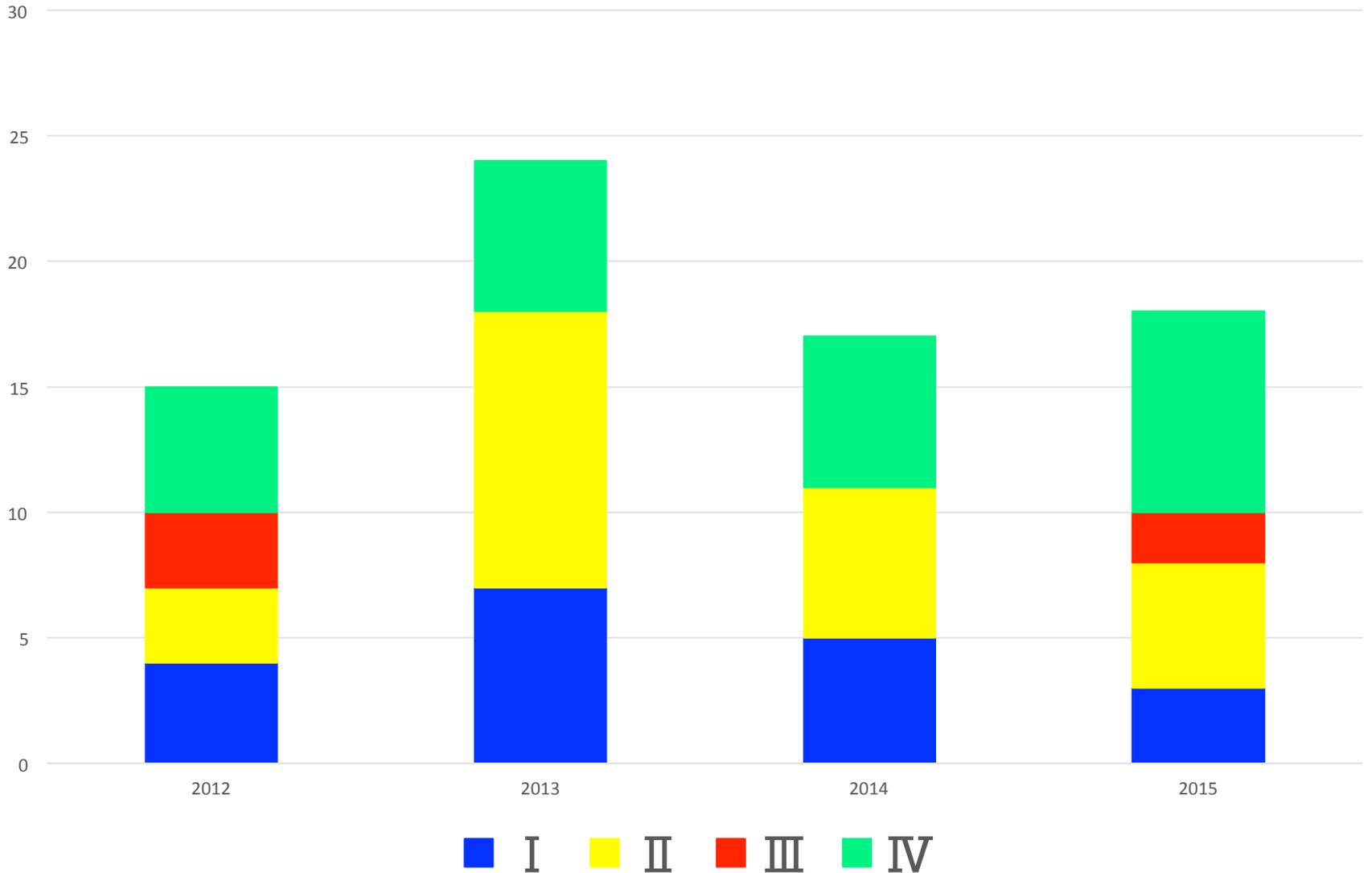


当科における口腔扁平上皮癌症例の発生部位



当科における口腔扁平上皮癌症例の臨床Stage と年別患者数

年別患者数

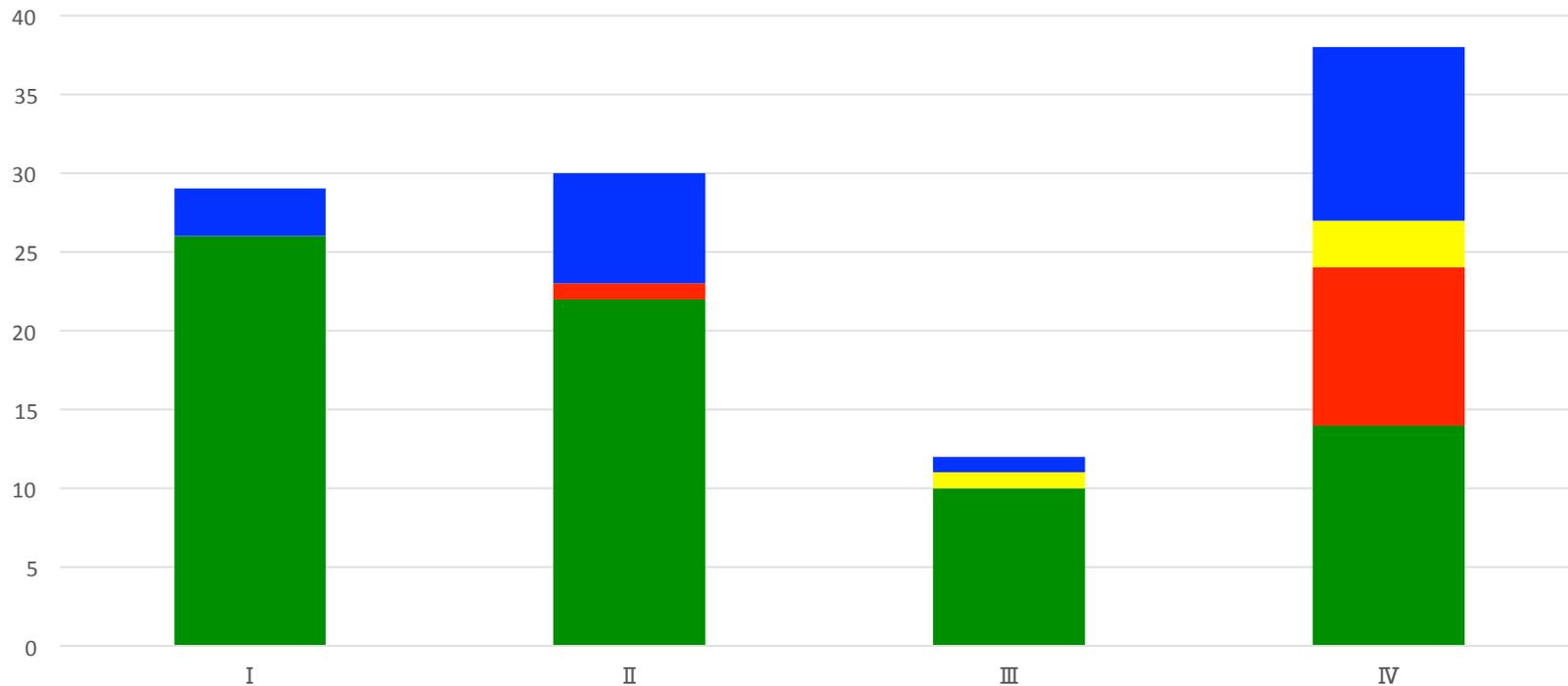


当科における口腔扁平上皮癌症例の 臨床Stageと治療法

ステージ別治療法

(2012年- 2016年)

症例数

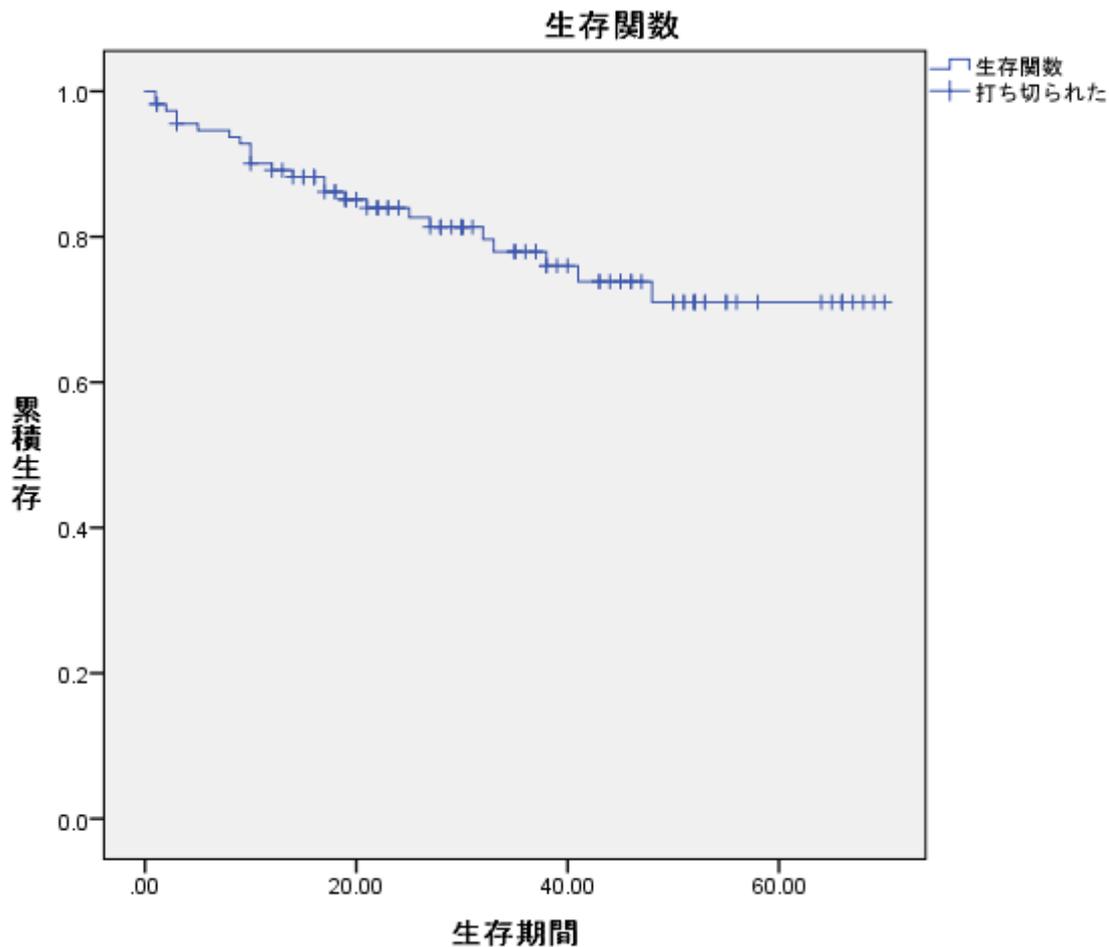


Stage

■ ope ■ CRT ■ ope前治療 ■ ope後治療

当科における口腔扁平上皮癌治療症例の 5年累積生存率

(Kplan-Meier method, 2012年- 2016年)



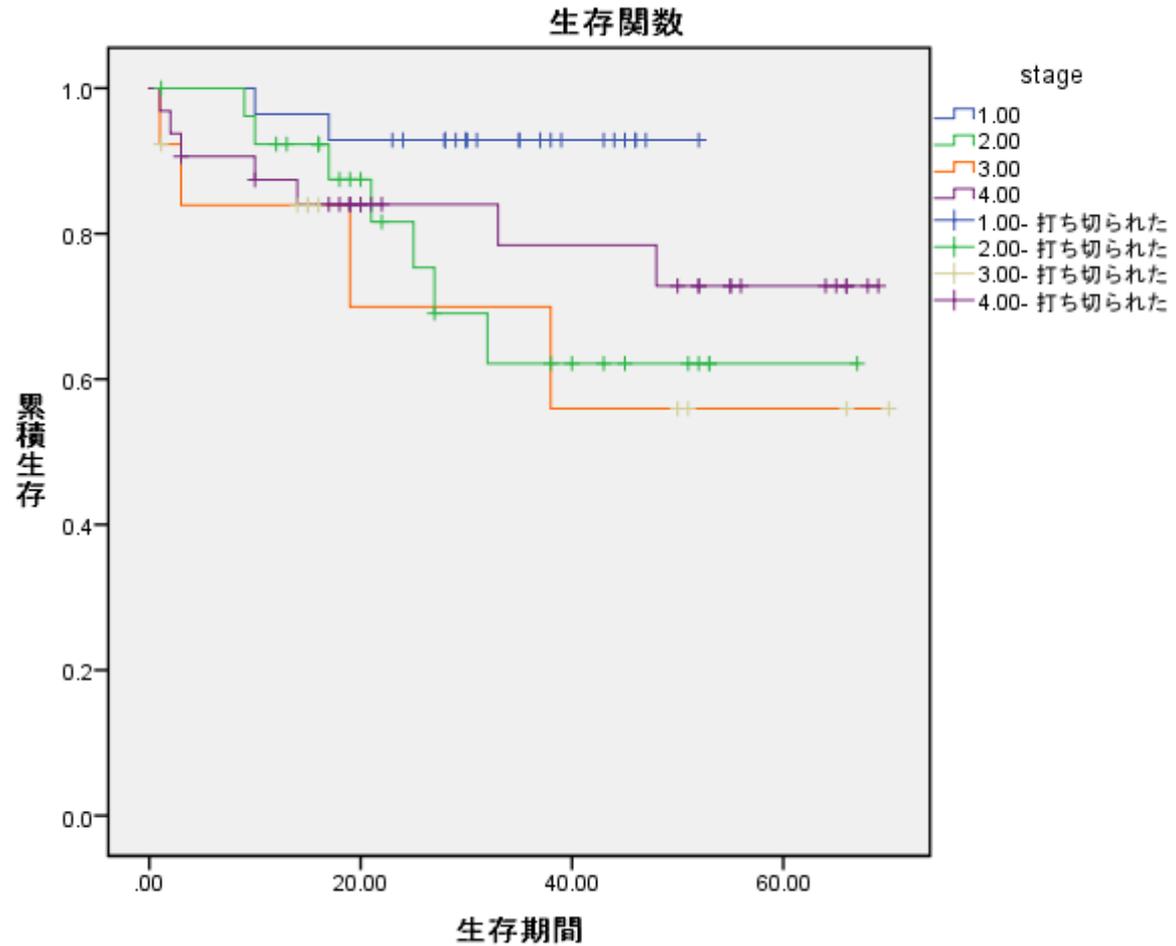
全106名
生存期間(月)
全生存率 79.2%

口腔がん症例のTNM分類 (2016)

T	N	N0	N1	N2a	N2b	N2c	N3	Total
T1		4	2		1			7
T2		8			3			11
T3		3	2		4			9
T4a								
T4b			1			2		3
Total		21	9		13	6		49

当科における口腔扁平上皮癌治療症例の Stage別5年累積生存率

(Kplan-Meier method, 2012年- 2016年)



100名
生存率

Stage I 92.9%

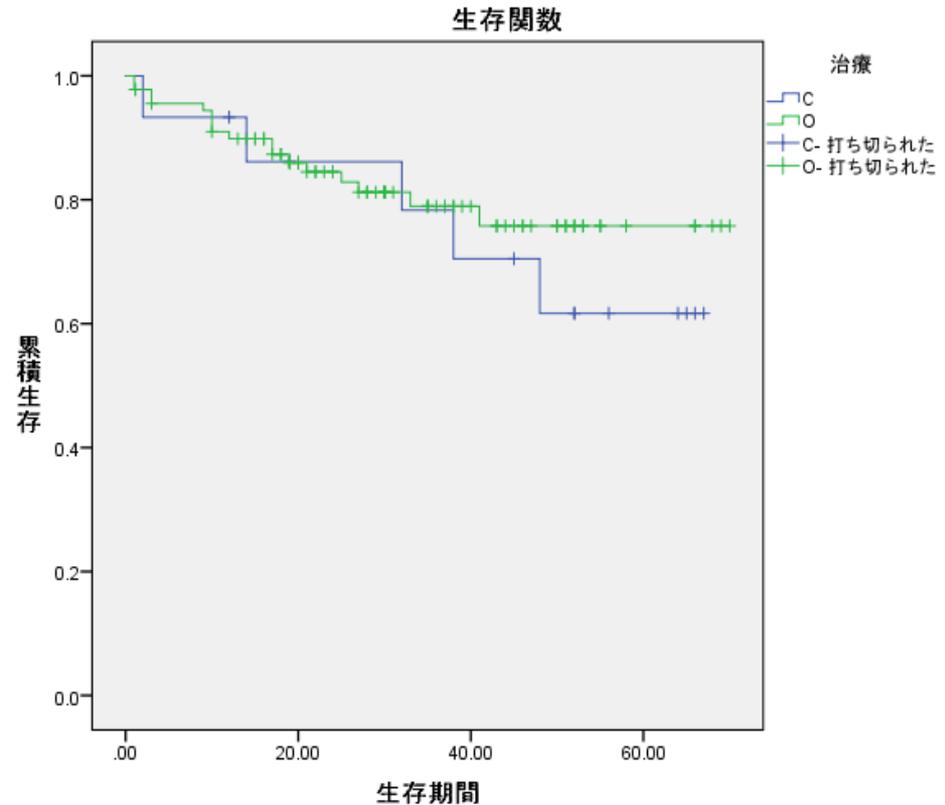
Stage II 74.1%

Stage III 69.2%

Stage IV 78.1%

合計 80%

当科における口腔扁平上皮癌治療症例の 治療法別5年累積生存率 (Kplan-Meier method, 2012年- 2016年)



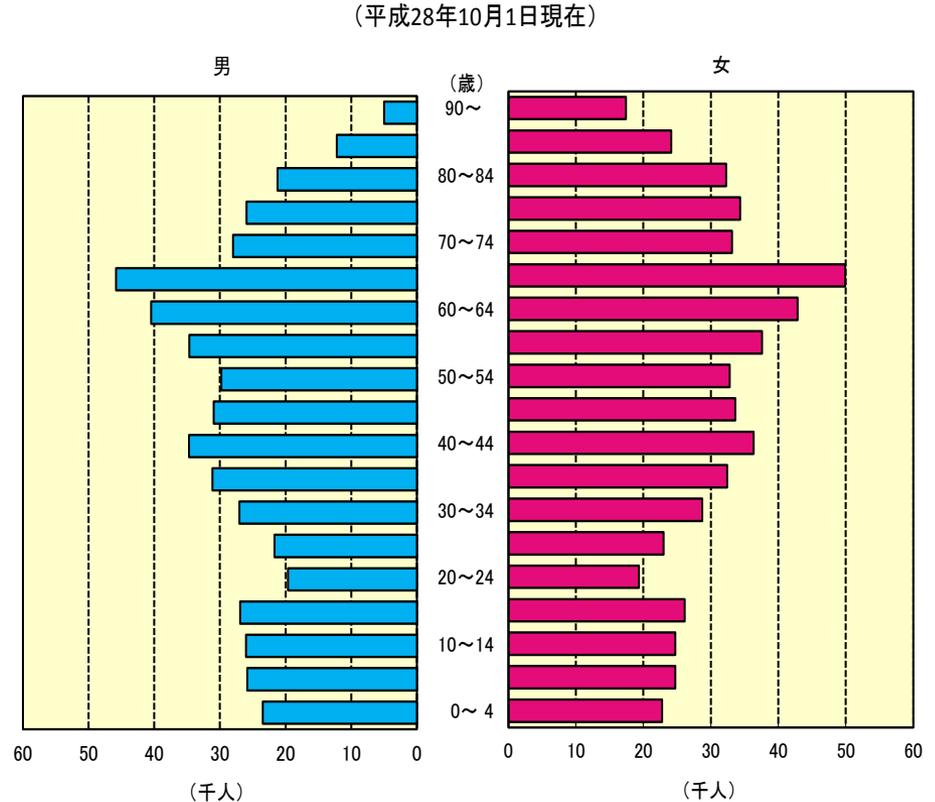
青線:放射線化学療法 15名 生存率 66.7%

緑線:手術 91名 生存率 81.3%

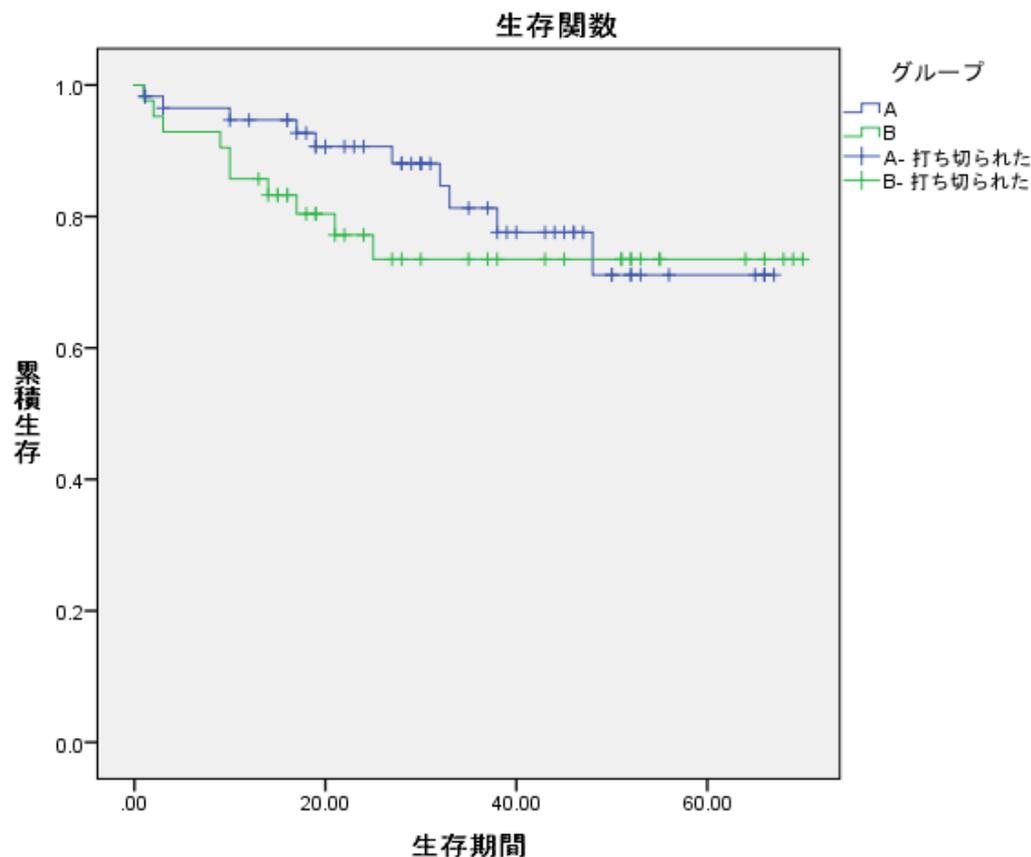
宮崎県における年齢別人口構成

平成28年10月1日現在

市町村	総数	平成28年10月1日現在											
		年少人口(0~14歳)				生産年齢人口(15~64歳)				老年人口(65歳~)			
		総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比
宮崎県	1,095,863	147,621	75,364	72,257	13.6	609,874	296,944	312,930	56.1	329,430	138,183	191,247	30.3

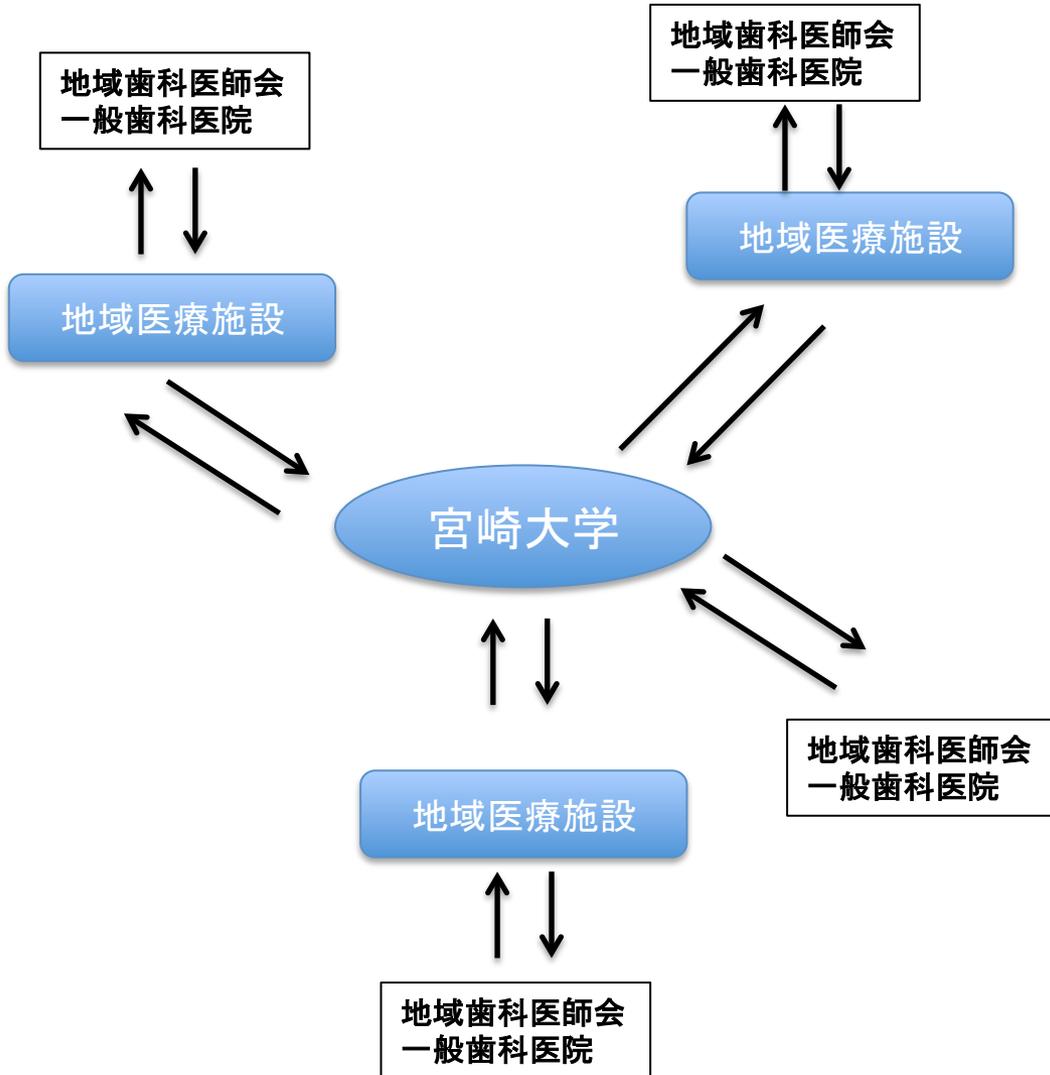


当科における口腔扁平上皮癌治療症例の 5年累積生存率 — 高齢者との比較 —



患者数 100名
A75歳未満 82.8%
B75歳以上 76.2%

宮崎県における治療ネットワークの構築を基本とした病診連携の構築と推進



宮崎大学 医学部における 口腔がん治療の医科歯科連携の変遷

- **～2015年3月**

口腔がんの動注化学療法

がん化学療法部との連携

- **2015年3月以降**

頭頸部がんカンファレンスの実施

耳鼻咽喉科、放射線科(診断科、治療部)、形成外科、病理診断科

耳鼻咽喉科・頭頸科、形成外科との合同手術

口腔がんの動注化学療法

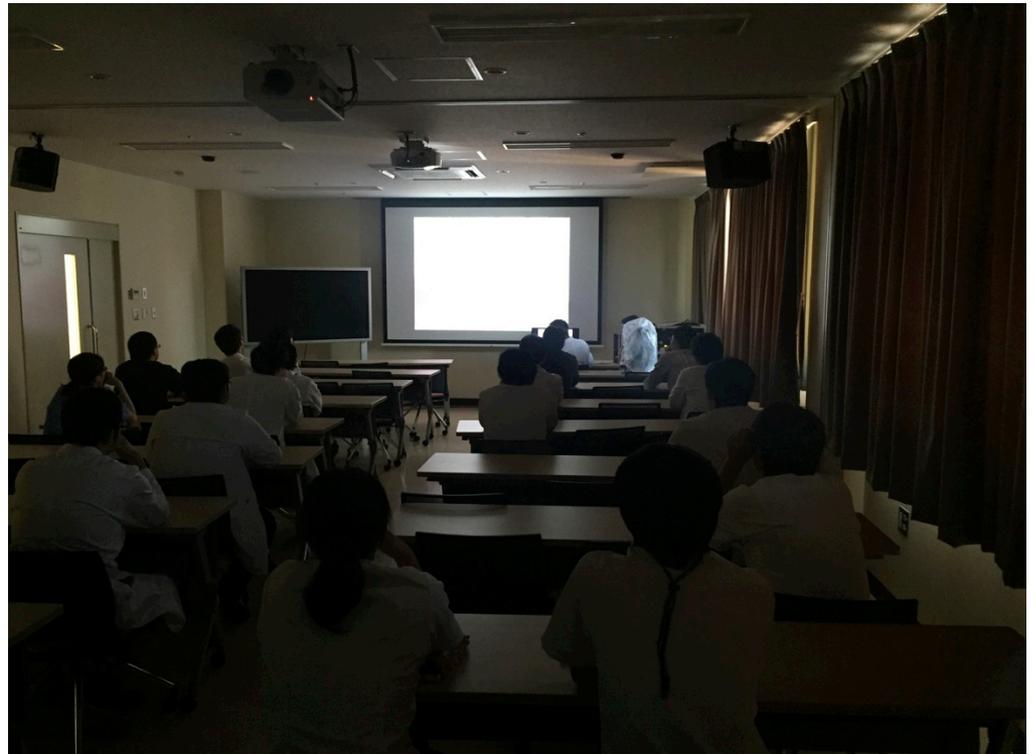
がん化学療法部との連携

頭頸部がんカンファレンスの実施

2015年3月以降

耳鼻咽喉科、放射線科、形成外科、病理診断科

2-3回/月（隔週）実施



口腔がんにおける他科との連携

診断、剖検

病理診断科

化学療法

口腔がん

がん診療部

放射線療法

歯科口腔外科

放射線科

手術療法

緩和ケア

耳鼻咽喉科

形成外科

緩和ケアチーム

脳神経外科

リハビリテーション科

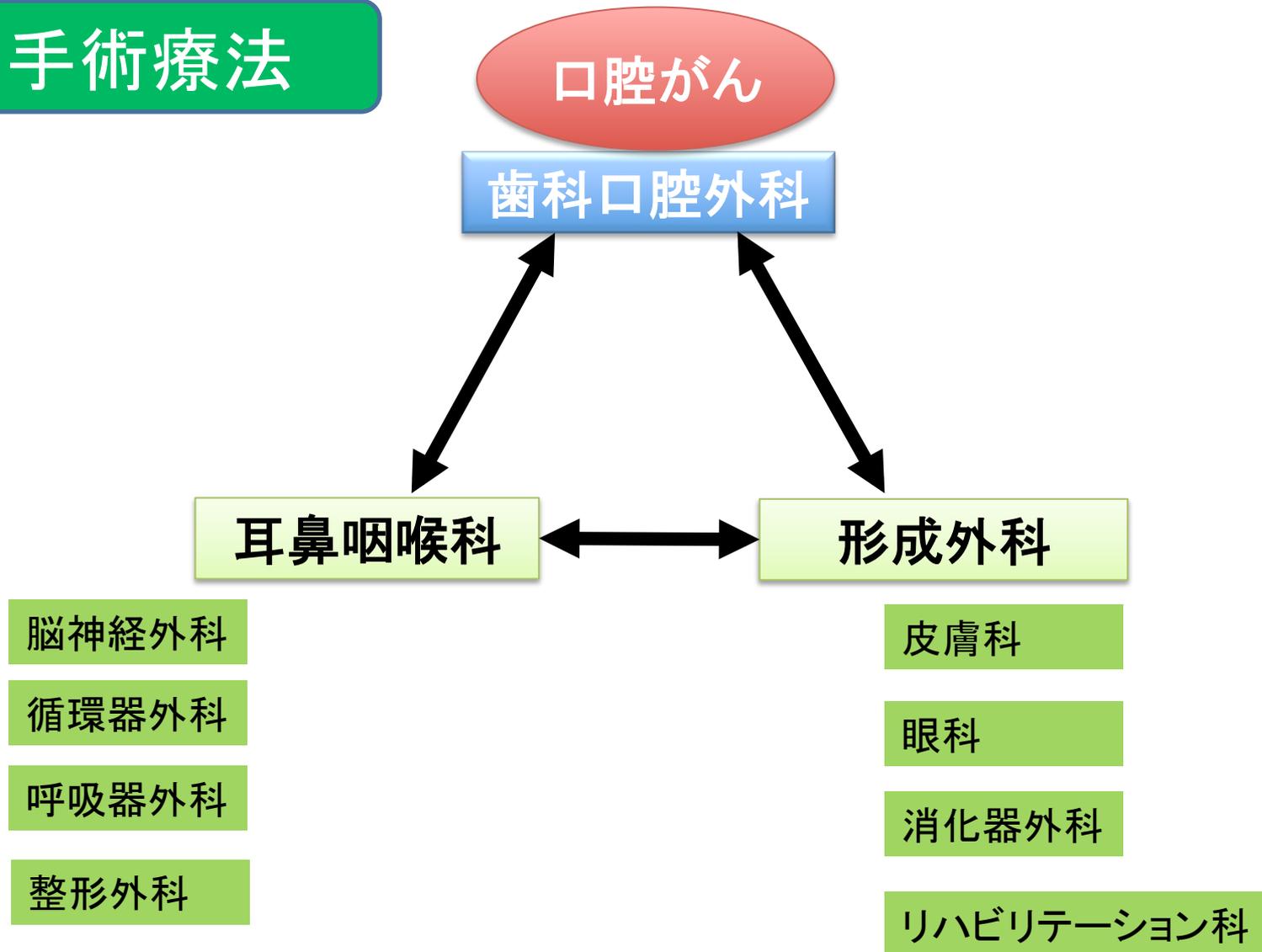
循環器外科

呼吸器外科

・
・
・

口腔がんにおける他科との連携

手術療法



口腔がんにおける他科との連携

診断、剖検

病理診断科

口腔がん

歯科口腔外科

化学療法

がん診療部

放射線療法

放射線科

手術療法

緩和ケア

耳鼻咽喉科

形成外科

緩和ケアチーム

脳神経外科

リハビリテーション科

循環器外科

呼吸器外科

・
・
・

口腔がん放射線化学療法における 医科歯科連携

がん診療部との連携

- 口腔がん化学療法レジメ登録
- 口腔がんにおける外来化学療法の施行
- 口腔がん化学療法患者の全例診察

口腔がんの動注化学療法

口腔がんにおける動注化学療法は全例放射線診療部にて施行



宮崎大学医学部での動注化学療法



Journal of Oral and Maxillofacial Surgery,
Medicine, and Pathology

Volume 28, Issue 5, September 2016, Pages 385–391



Original Research

Surgical resection or additional radiotherapy after superselective intra-arterial chemotherapy (docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil) using the Seldinger technique and concurrent chemoradiotherapy for T3 or T4 oral squamous cell carcinoma ☆

Yuudai Kondo , Kentaro Nagai, Tomohiro Tamura, Yuri Tagawa, Koji Yamamoto, Yohei Uemura, Kaori Igawa, Yoshihiro Yamashita

[Show more](#)

<http://dx.doi.org/10.1016/j.ajoms.2016.05.002>

[Get rights and content](#)

Fig.1

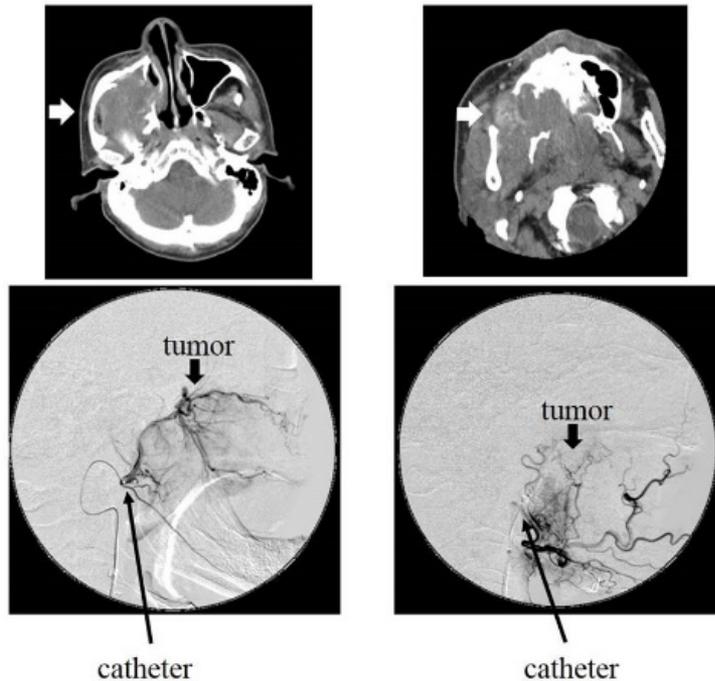
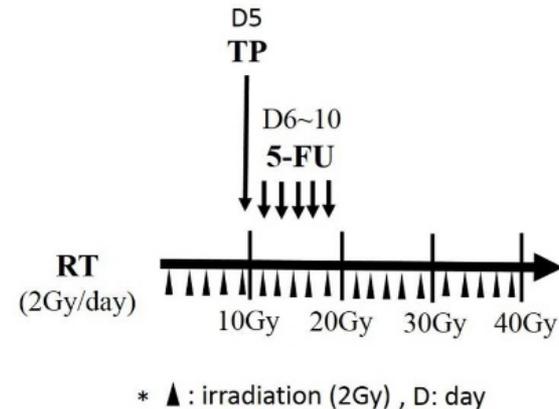


Fig.2

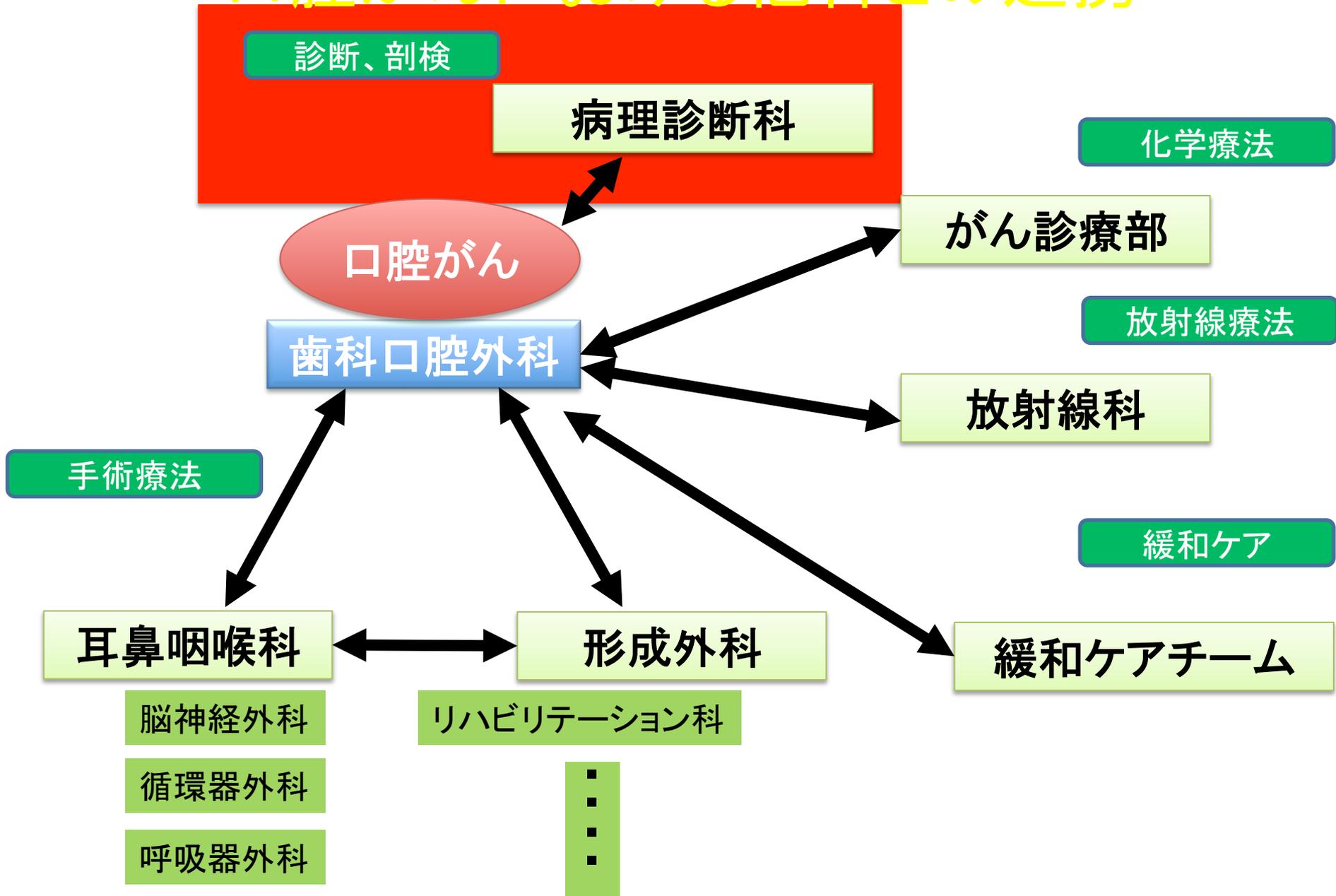
T: docetaxel (50mg/m²) } arterial injection
P: cisplatin (50mg/m²) }
5-FU: 5-fluorouracil (600mg/m²) } intravenous administration



40Gy照射後に画像評価、CRであれば追加20Gy照射そうでなければsalvage

T3,T4の口腔扁平上皮癌に対して動注併用CCRT施行

口腔がんにおける他科との連携



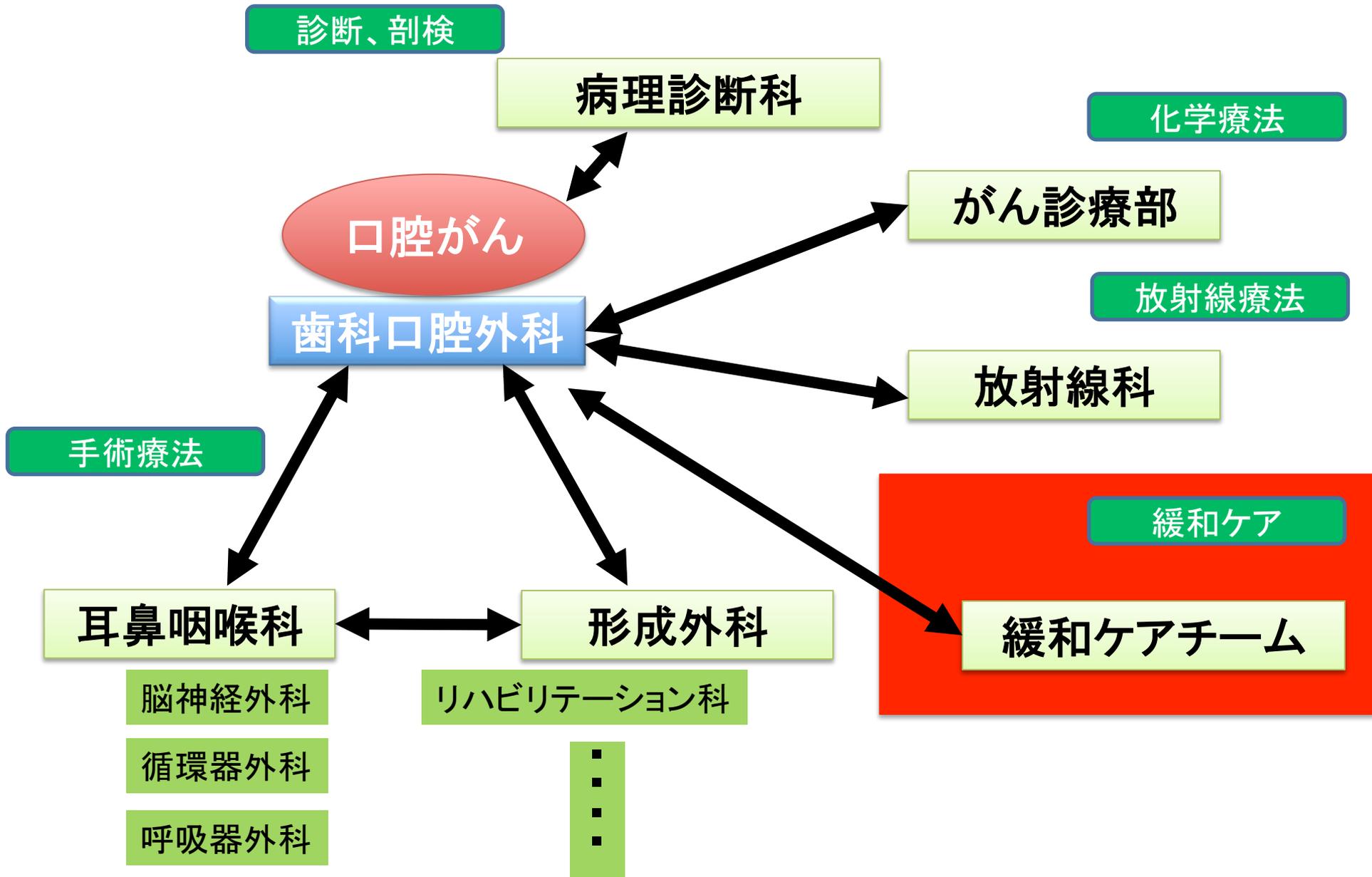
病理診断科(業務内容)

- 病理組織診断
- 術中迅速病理診断
- 細胞診
- 病理解剖(剖検)

病理診断科における当科の検体数(過去3年)

	組織診断	細胞診	術中迅速	剖検
2014	376	0	4	0
2015	397	1	12	2
2016	386	9	20	1

口腔がんにおける他科との連携



緩和ケアチームとの連携

口腔がん診断時、再発、転移時等の精神的サポート

終末期医療のサポート

がんによる痛みや不安などお悩みはありませんか？

～がんサポートチームのご案内～
(緩和ケアチーム)

宮崎大学医学部附属病院には、がんの患者さまとご家族の抱える様々なつらさや心配事を少しでも和らげるための支援を行う専門家チームがあります。些細なことでも構いません。あなたのお悩みをお聞かせ下さい。

例えばこんな時、ご相談ください。

体のつらさ

痛み、しびれ、息苦しさ、吐き気、だるさ など

心のつらさ

眠れない、不安、緊張、気分が落ち込む、家族のストレス など

生活に関わる心配ごと

医療費や生活費について、家族の悩み、仕事の悩み、看病の悩み、退院後の生活について など

どうすればあなたのお悩みが改善されるかを一緒に考え、お手伝い致します。
※ご相談は患者様ご本人でも、ご家族の方でもお受けいたします。

がんサポートチームのメンバー

●麻酔科ペインクリニック医師

体のつらい症状を和らげることを担当

●精神科医師

精神的な症状を和らげることを担当

●看護師

日常生活や看病を含めたがん療養の方法や注意点などの相談を担当

●管理栄養士

食事や栄養に関する相談のほか、医師や看護師への専門的なアドバイスを担当

●薬剤師

患者様への説明のほか、医師や看護師への専門的なアドバイスを担当

●ソーシャルワーカー

医療費や制度、転院や退院後の生活環境の整備、社会生活のサポートを担当



相談をご希望の方は、担当医師や看護師にお声をかけていただくか、

相談支援室(0985-85-1909)までお気軽にお電話下さい。

宮崎大学医学部附属病院 がん診療部

口腔癌と鑑別が困難な

口腔粘膜疾患

褥創性潰瘍

円形に近いが一定せず、原因となる刺激物に一致する形

辺縁はやや隆起するが、硬結はない

潰瘍は一般に浅く、なだらかに底面に移行し、周囲の粘膜にはほとんど変化はない



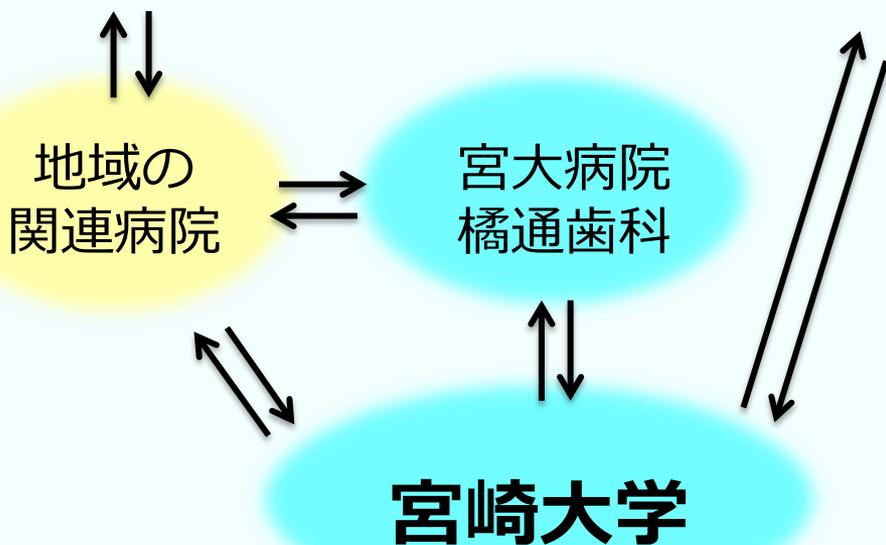
褥創性潰瘍



- 不良補綴物の除去, 充填物あるいは歯の鋭縁を除去する.
- ~~1週間から10日ステロイド軟膏を塗布し, 変化がなければ悪性腫瘍を疑う.~~

1. 病診連携の維持・推進

地域医師会・歯科医師会・一般医院



歯科口腔外科・矯正歯科の関連病院 (歯科医師を派遣中)



○: 常勤の数 (): 非常勤の数



KIZUNA

Miyazaki Inter-Hospital
Social Networking Service

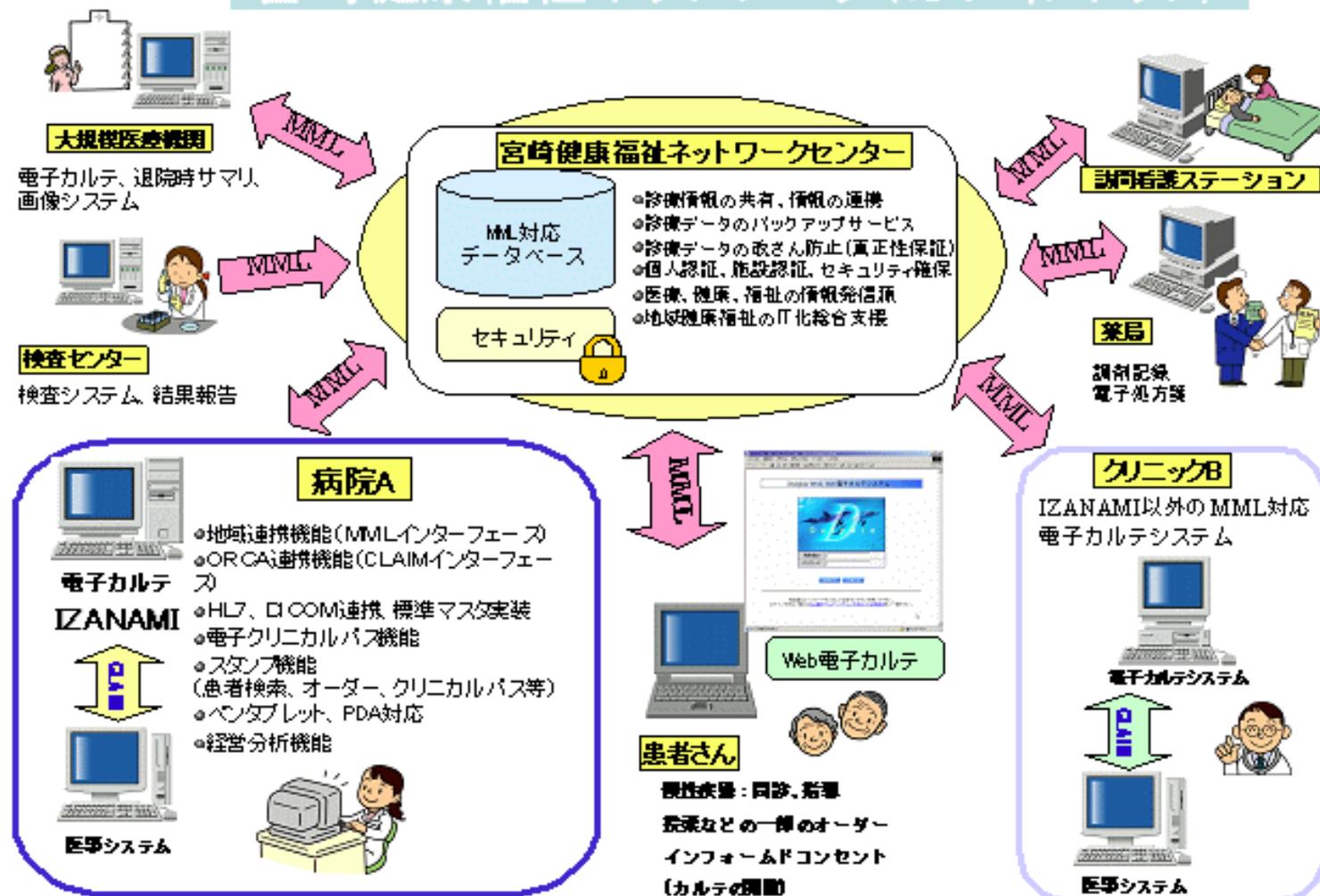


地域医療情報の共有・活用を目的とした宮崎健康福祉ネットワーク

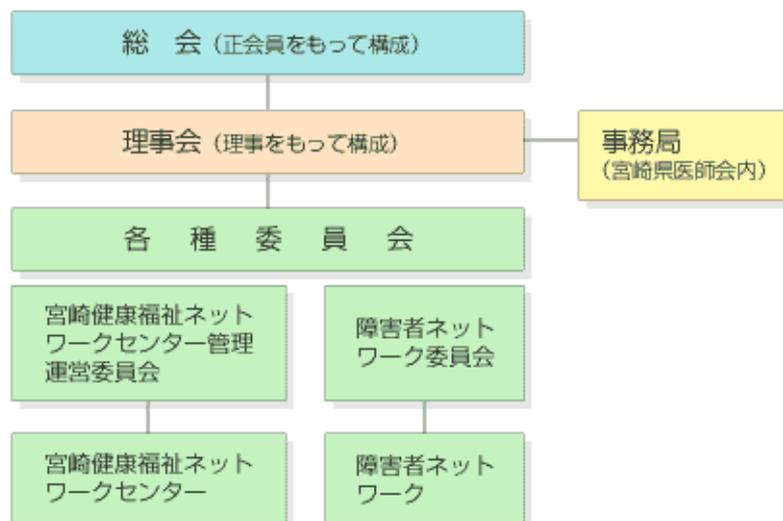


●システム全体像

宮崎健康福祉ネットワーク(はにわネット)



●組織図



●役員

会長 富田 雄二(宮崎県医師会常任理事)
副会長 荒木 賢二(宮崎大学医学部 医療情報部 教授)

理事 濟陽 英道
(宮崎市郡医師会医療情報システム委員会委員長)
// 中村 典生(宮崎市郡医師会長)
// 福元 廣次(宮崎市郡医師会)
// 田崎 博俊(宮崎県薬剤師会常任理事)
// 萩田 均司(宮崎県薬剤師会)
// 鈴木 斎王(宮崎大学医学部 医療情報部 准教授)
// 長友 信裕(地域情報化アドバイザー)

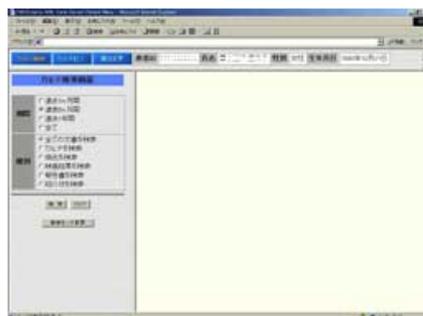
顧問 秦 喜八郎(宮崎県医師会長)
// 高崎 眞弓(宮崎大学医学部 附属病院院長)
// 日高 幸平(宮崎県福祉保健部長)

●利用できる機能

はにわネット 電子カルテ閲覧と健康日記



入会后電子証明書を受け取り、ご自分のコンピュータのブラウザにインストールすると診療録情報閲覧画面の入り口画面を利用することができます。



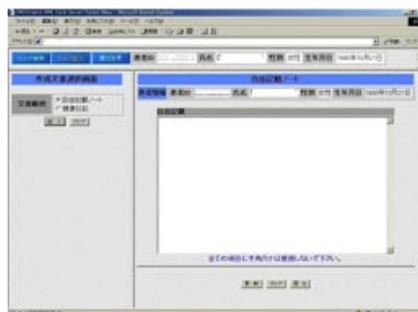
個人IDとパスワードを入力すると情報検索画面になります。



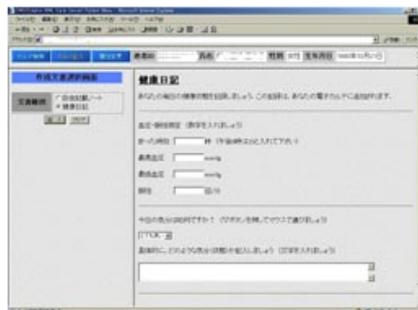
右側のフレームに閲覧可能な情報一覧が表示されますので、その中から選択します。



診療録情報はこんな風に見えます。



ご自分の病状など自由に記載し診療に生かすことができます。



血圧などは健康日記に入力することができます。
将来これらのデータや検査データをグラフ化して見ることができます(予定)。

医科歯科連携による口腔ケアの推進

宮崎大学 歯科口腔外科・矯正歯科

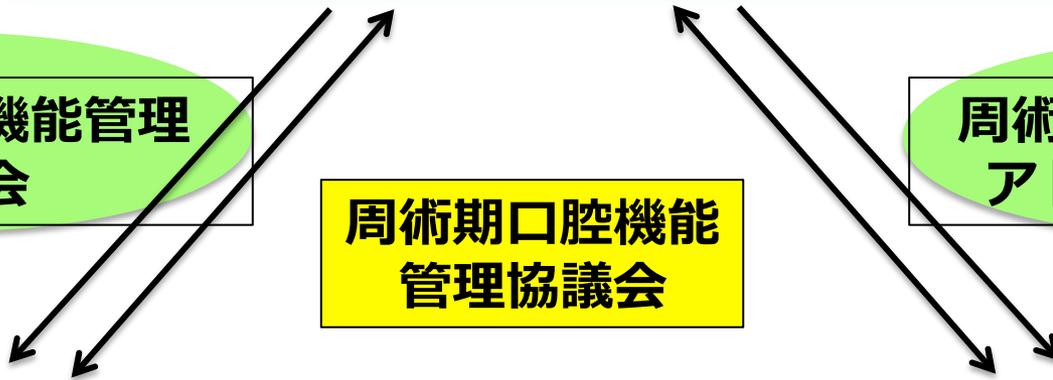
周術期口腔機能管理
研修会

周術期口腔機能管理
アドバンス研修会

周術期口腔機能
管理協議会

宮崎県歯科医師会

宮崎県内の歯科口腔外科を有する
がん拠点病院
がん推進病院



宮崎大学医学部顎顔面口腔外科顎分野における口腔ガン治療のまとめ

- 当科の口腔ガン治療は手術療法を主体に行っている。特に他科と連携し手術範囲の拡大および他の療法との併用も行なっている。
- 術後の機能回復については様々な再建療法を行い、特に摂食、嚥下および咬合再建は必ず行なっている。
- 手術や放射線化学療法に際してだけでなく、精神面や経済面などの治療以外の部分でも各部門との連携を行っている。
- 地域医療との連携においては現在までに構築された環境、設備を用いてさらに改善を行い、口腔ガン患者が初期の段階での早期に受診できるように努力したい。